



# マイカー乗るまあデーくらぶ

第6回JCOMMポスター発表  
(平成23年度JCOMMデザイン賞)

金子 俊之 株式会社福山コンサルタント  
中村 良枝 株式会社福山コンサルタント  
小笹 俊成 株式会社福山コンサルタント



広島市のノーマイカーデー運動支援WEBサイトの取り組み  
<http://www.noruma-day.jp>

## マイカー乗るまあデーとは

- 広島市では、毎月21・22日を「マイカー乗るまあデー」と定め、平成17年度より環境にやさしい交通行動の実践を促すノーマイカーデー運動を推進している。
- 具体的な運動としては、ポスター、チラシ、広告塔、横断幕、広報番組等での様々なPRを行っているとともに、交通事業者の協力を得て、マイカー乗るまあデーに合わせた割引1日乗車券を販売するなど、環境にやさしい交通行動の実践をサポートしている。
- この取組の支援策の一つとして、クルマの利用を控えた取組報告がいつでもでき、その人の環境への貢献度が確認できる常設型のWEBサイト「マイカー乗るまあデーくらぶ」を開発している。



## マイカー乗るまあデーくらぶの特徴

- このWEBサイトでは、クルマの代わりに徒歩や自転車、公共交通機関を利用するなど、環境にやさしい交通行動を実践したときの取組報告がいつでもでき、取組によるCO2削減量や消費カロリーがグラフなどで視覚的に表示されるなど、環境への貢献度が確認できるシステムとなっている。
- また、取組回数やイベント参加に応じて、オリジナルキャラクターが成長する仕組みを導入しており、参加者が楽しみながら取組報告を継続できるように工夫している。
- さらに、企業内の環境意識向上に活用できる団体登録制の導入、普段クルマをあまり利用しない人でも環境にやさしい行動をチェックできるクイズの導入、参加型イベントの定期開催、携帯電話での取組報告への対応など、誰もが親しみやすいWEBサイトづくりを実践している。

- WEBサイトを大規模かつ個別的なモバイルティーマネジメントの展開ツールとして活用し、アクセス頻度や滞在時間の増大により、個人の環境意識向上やフィードバック効果の持続が期待できる。
- また、団体登録制の導入により、企業単位でのCO2削減量や団体内ランキングが表示でき、環境意識向上や企業CSRへの活用が可能である(現在の登録会員数は3,165人、73団体)。
- 広島市総合交通戦略(平成22年7月)では、本サイトの登録会員による取組報告件数の増加を指標の一つとして位置づけており、今後も「マイカー乗るまあデーくらぶ」を積極的に活用していくこととしている。

## 会員登録方法

## WEBサイト「マイカー乗るまあデーくらぶ」の内容

## 「マイカー乗るまあデーくらぶ」の3つの特色

- ① 意匠性
  - オリジナルキャラクター「まあデーくん」の作成により、全体的に親しみやすくやわらかいWEBデザイン。
  - 取組報告やイベント参加によるポイント獲得がキャラクターがランダムに変身したりつづいたりする(約30種)。
  - 獲得したポイントでキャラクターの部屋のベッド、冷蔵庫などのアイテムを購入できる(9項目56種)。
  - キャラクターのオリジナルの衣装デザインを募集する参加型イベントを開催し作品を公表。入賞者の衣装デザインは実際にサイト上に登録し、携帯電話でのダウンロードも可能。
- ② 機能性
  - 簡単な入力によりCO2削減量や消費カロリーなどの環境への貢献度が視覚的に確認できるWEBシステム。
  - 毎年の利用者の声により、使いやすさや分かりやすさを向上させたシステムとデザイン(リニューアル4回)。
  - 取組回数やイベント参加によるポイント獲得によりキャラクターが変化、ポイントで購入したアイテムでマイルームをあれこれと、楽しみながら継続できる仕組み。
  - 毎日楽しみながら環境にやさしい行動がチェックできるクイズの導入。
  - WEBサイト上で参加型イベントを定期開催。携帯電話での取組報告にも対応。
- ③ 実務的活用
  - WEBサイトを大規模かつ個別的なモバイルティーマネジメントの展開ツールとして活用。アクセス頻度や滞在時間の増大により、個人の環境意識向上やフィードバック効果の持続を期待(登録会員数3,165人)。
  - 団体登録制の導入により、企業単位でのCO2削減量や団体内でのランキングが表示でき、環境意識向上や企業CSRへの活用が可能(73団体登録)。
  - 「まあデーくん」は、WEBサイト以外でも様々な広報媒体への掲載、オリジナルグッズ、テレビCMのデザインなどに使用され、マスコットキャラクターとして定着。
  - 広島市総合交通戦略(平成22年7月)では、平成20年度まで本サイトの登録会員による取組報告件数が約86%増加させる指標を位置づけて。